

平成24年度 地球環境基金プロジェクト

ESDを活用した北陸における生物多様性保護等の推進

モデル事業報告書

平成25年3月

一般社団法人 大学コンソーシアム石川

はじめに

「持続可能な開発のための教育の 10 年」が 2005 年 1 月から開始され、国や自治体、NGO 等を中心に、持続可能な開発のための教育（ESD）の推進活動が全国的に進められている。ESD の周知普及は、わが国の国内実施計画でも初期段階の重点事項として特に強調されており、平成 23 年 6 月の改訂に際しても引き続き重点事項とされている。

大学コンソーシアム石川では、北陸地域における ESD の普及を促進するため、平成 20 年度に地球環境基金の助成を得て、「学校教師を中心とした北陸地域の ESD の普及のための仕組みづくり」事業を実施し、関係者の協力と支援により、多大な成果をあげることができた。さらに、引き続き地球環境基金の助成を得て、平成 21 年度から 3 年間「マルチステークホルダーによる北陸における ESD 普及のための仕組みづくり」事業を実施し、さらに平成 24 年度からは「ESD を活用した北陸における生物多様性保護等の推進」事業を実施している。その成果もあり、平成 20 年 4 月には北陸では皆無であったユネスコスクールが平成 24 年 12 月には 65 校にまで増えている。

本年度から開始された「ESD を活用した北陸における生物多様性保護等の推進」事業では、関係自治体、大学等との連携・協力のもとで以下の事業を実施した。

- ① 初等中等教育での生物多様性等に関する ESD モデル教材、カリキュラム開発と ESD モデルプロジェクト実施
- ② 学校教師等向けの生物多様性等に関する ESD 講座
- ③ 幅広く市民に生物多様性保護・ESD 等を周知するための ESD シンポジウム
- ④ 教育委員会、自治体等による生物多様性保護・ESD 研修等の支援
- ⑤ 上記活動を企画推進する北陸 3 県の ESD 推進連絡協議会の開催

今後は、ユネスコスクールをはじめとする北陸の学校での ESD の質の維持・向上と具体的なカリキュラムの開発・改善が重要な課題になる。そのため、本報告書では、上記の活動のうち、ESD モデルプロジェクトに着目し、今年度実施した以下の 4 件のプロジェクトの成果を取りまとめている。また、参考資料として北陸 3 県で実施した ESD シンポジウムのチラシを収録している。

- ・富山県：富山市立堀川小学校における ESD 実践
- ・石川県：金沢大学里山ゾーンを活用した幼児向け自然教育プログラムの開発
- ・福井県：①ESD における幼児教育・保育の提案
②赤とんぼプロジェクト

本報告書が、今後の北陸をはじめとする我が国における ESD 活動の推進に資することを願うものである。

平成 25 年 3 月
大学コンソーシアム石川 ESD 推進連絡協議会
鈴木克徳（金沢大学教授）